

一凜 月刊

書道教室 薬院 一凜
sho-do ICHIRIN

繼續は力なり



No.24

2019年11月



夢は美一歩一歩
希望は高まれば
夢も希望も捨てなければ
必ず近づいてくる

目的は高まれば、そのための
一歩一歩で目標を定めよう
うそそのために時を

刻むぞよ。



月刊一凜 No.24〈2019年11月〉

《競書審査員》佐々木峯雲 《発行》書道教室 一凜 薬院 《制作》野口昌芳(NS)



書道教室 薬院 一凜
sho-do ICHIRIN

〒810-0022 福岡市中央区薬院3-7-25 原ビル2F
TEL / 092-791-7251 FAX / 092-791-7786
<http://www.shodo-ichirin.com/>

墨を擦る

文 岡田 雄希

近頃、八女に 通っている

在籍する会社が福岡県内二ヵ所で指定管理を請け負っている。福岡市内では博多町家ふるさと館。そして、もう一つが八女市横町町家交流館だ。八女市の交流館では現場担当者が体調を崩したためウイークデーに限って、私が留守番役として行くようになった。

大ざっぱに言うと指定管理者というのは、地方自治体やそれに準ずる公的機関から管理を委託された民間業者を言う。私が週一のペースで通う交流館

は、八女市福島地区の伝統的建築物群の中にある博物館のような施設。私が行くのは平日なのでお客様はほとんど来ない。

人繰りがつかず即位礼正殿の儀が執り行われた10月22日ですら朝から夕方まで現地で過ごしたのだが、丸一日開けていたにもかかわらず午前中に10人ぐらいか来館者がなかつた。休日だったので訪問客が増えるかもしれないとい少し緊張していたのだが、どうして、どうして…、ビジネス的には”罰当たり”な話などが忙しくならなくてホッとしました。

交流館がある福島地区は八女市を

せに生と
得るは
事と
なすに
あり
幸運

日本書道協会「名言名句辞典」他より抜粋編集

佐々木 峯雲

【四季と書】
人がこの世に生まれてくるのは、何かを成し遂げるためである。
これは坂本龍馬の力強い言葉です。
「何かを成す」という目標を持つて生きることが、人生を意義あるものにする」とも、「人生の意味は財産や地位を得ることだけではない」とも解釈できます。

この言葉は、司馬遼太郎の小説『龍馬がゆく』に出てきています。有名になりました。ただし、坂本龍馬の言葉ではないかも知れない、という説もあります。

薩長同盟や大政奉還のきっかけをつくったりと、スケールの大きな「事」を成し遂げた坂本龍馬は歴史上の英雄です。龍馬にあやからうとしてなのか、多くの起業家がこの言葉をモットーに掲げています。

孫正義氏は、人生の大変な局面に、繰り返し司馬遼太郎の『龍馬がゆく』を読んでいるそうです。ソフトバンクグループのロゴの配色は、坂本龍馬の作った「海援隊」の隊旗を真似ています。それほど坂本龍馬に影響を受けている彼は「上に行きたい」「前へ進みたい」という推進力を強くもって成功してきました。現在のソフトバンクの企業理念は「世界の人々から最も必要とされる企業グループを目指す」だ。「前へ前へ」「上へ上へ」と推進する力は、龍馬の言葉や生き方そのものなのでしょう。

しかし、「事」の内容はビジネスに関する「事」だけではありません。百人いれば百通りの「事」があります。自分のためだけではなく、人のために人生をささげる人もいます。何に人生を懸けるかで、その人の生き方が問われるのでしょうか。

岡田 雄希 Yuki Okada

昭和33年3月20日、北九州市生まれ。平成23年12月に一凜に入門。
趣味は自転車と酒を飲むこと。酒は誘われたら断らないがモットー。

「出来ることをすこしづつ、出来ることをいつまでも」

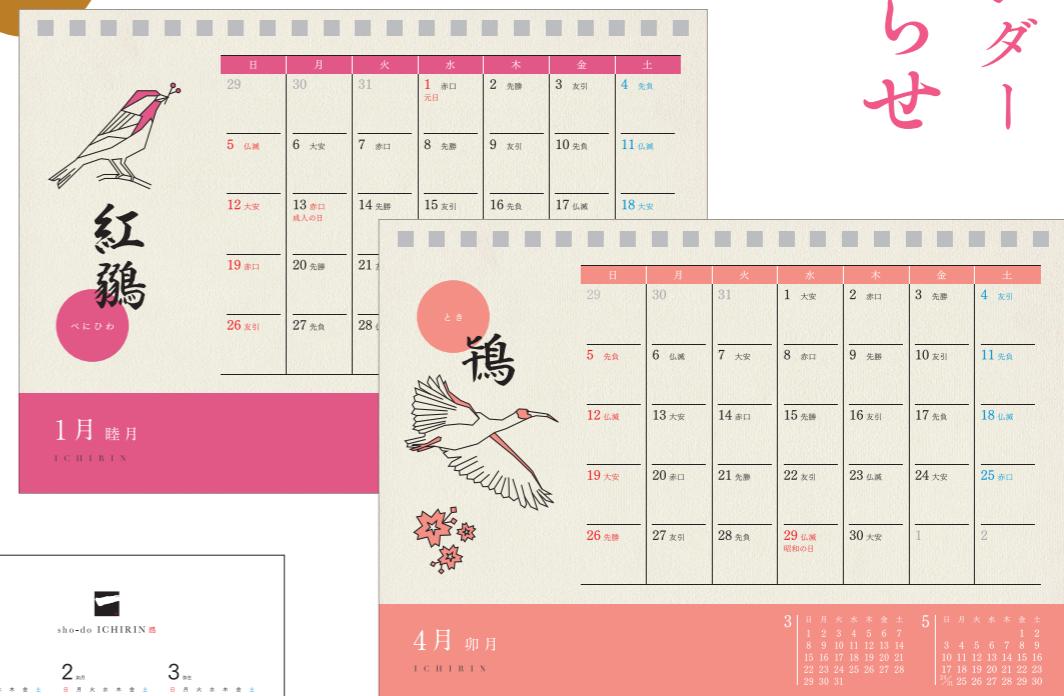
2020年度版 一凜チャリティーカレンダー 予約開始のお知らせ

2019年12月、書道教室一凜は
創立から丸10年を迎えます。

これからもさらなる発展、さらなる高みを志し、
皆さんと一緒に
羽ばたいていきたいと思っております。
その思いを込め、
2020年のチャリティーカレンダーは
「鳥」をテーマに制作しました。

世界、未来へとつながる大空を舞う鳥のように、
被災された方々に希望や安らぎを
少しでも届けられればと思っております。
みなさまのご協力を
どうぞよろしくお願い致します。

サンプル



※上記サンプルの書はダミーです
※デザインは変更になる場合がございます

◀裏面は3ヶ月分のカレンダーです。

カレンダーについて

サイズ: B6サイズ(組立てサイズ: W182×H138×D75) ※リング部分を除く
価格: 1冊1000円(税込) ※カレンダーのお渡しは12月上旬を予定しております。

ご注文締切日

2019年11月27日(水)まで

同様の申し込み用紙に必要事項を明記し、
締切日までに佐々木先生にお渡しください。

11月分課題は12月10日(火)が提出期限予定です。

諦めることなく、コツコツと努力することが何より大切です。
みなさん、今月も頑張りましょう。

11月分 課題

坦虚懷心

《漢字 楷書》
10級～1級

河國破山

《漢字 楷書》
初段～五段

昔聞洞庭水

《漢字 楷書》
六段以上

人生は戦いた。孫子は敵に勝つための方法を詳しく述べ
た兵法書の古典であり、今も有用の書として評価が高い。
それは競争社会に生きる私たちの人生にも役立つものである。
物事について考えをまとめるとき、複数で意見を
出し合ふと、自分と違った見方がわかつたり、自分の
考えが適切かどうかを判断したりすることができます。

《硬筆》
10級～1級

《硬筆》
初段以上

《かな》
10級～1級



《かな》
初段～五段



《かな》
六段以上

配布された手本に間違えがないか、左記課題一覧を必ず確認してください。

今月の言葉

今年も一凜オリジナルチャリティーカレンダー
を作成する時期がやってきました。来月には、
教室を開いて丸十年になります。来年のテーマ
は野口氏(デザイン担当)の提案で既に決定し
ています。十周年を迎えて、大空を駆け巡る鳥の
ように今後も一凜が飛躍していくことを願って
「鳥」をテーマにしました。今年もチャリティーカ
ーの協力をお願いします。

今はまだ漠然とした段階ですが、十周年記
念として皆さんの作品発表会を企画してお
ります。来年十月頃に、福岡市美術館(大濠)の
ギャラリーを借りて開催する予定です。詳細は
来年一月頃に御案内できると思います。

九月の有段者以上の硬筆課題で誤字・脱字
がありました。皆さんはそのことに気づいてい
たと思います。「球」の点を欠いていたこと。「調
節しているのではないか」の「は」が抜けていた
こと。昨今は、論語の『六十而耳順』(人の言う
ことを逆らわずに素直に聴く)を、常に肝に銘
じなければと思っています。月刊一凜の内容
や手本で誤りに気付いた時や、諸々で疑問に思
うことがありましたら、遠慮なく仰って頂け
ればと思います。